館内の紹介

外観

建物は、イタリアのデザイナーが設計したもの。
偶然ですが、世界最大の翡翠の産地ミャンマーの大使館の前にあります。

1階

巨大な原石を中心に展示しています。ギャラリーでは数々のコレクションが展示しており、販売も行っています。

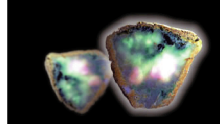
2階

様々な原石や加工品が展示されています。コレクターとの情報交換の場にもなっています。

一部をカルシウムに、アルミニウムの一部をマグネシウムと鉄が置き換えた鉱物、即ち私たちが緑色ヒスイと言っていたのはオンファンス輝石だったのです。
また、マグネシウムカルシウムは典型元素で遷移元素でないので、着色の原因とは考えにくく鉄は遷移元素の一種なので、オンファンス輝石の緑色の原因になっていると推定されます。

色のタイプ	構　成　鉱　物	着色原因の元素
白色ヒスイ	ヒスイ輝石　チタン(1102)含有量	なし　0.1wt.%以下
緑色ヒスイ	オンファンス輝石	鉄
淡紫色ヒスイ	ヒスイ輝石	チタン　0.6～1wt.%
青色ヒスイ	オンファンス輝石	チタンと鉄

4.日本の翡翠



ヒスイは、糸魚川・青海のほかに、神居古潭（北海道）、秩父（埼玉県）、大屋（兵庫県）、若桜（鳥取県）、大佐（岡山県）、円行寺（高知県）、三重（長崎県）で発見されています。
これらの産地のヒスイは、鉱物学的にはヒスイ輝石ですが、宝石になるような質ではありません。
ヒスイは、いずれも日本列島の土台を形づくる中生代・古生代の古い地層から産し、大部分は糸魚川・青海と同様に、蛇紋岩があるところから発見されています。また、結晶片岩と呼ばれる地下深い場所でできた変成岩をともなっていることも共通します。

5.世界の翡翠

ヒスイは地球上のどこにでもあるわけではなく、ロシア・アメリカ・グァテマラ・メキシコ・ミャンマー・ヨーロッパアルプスなど、ごく限られた地域にあり、日本と同様、蛇紋岩があるところで発見されています。
糸魚川・青海は、ミャンマー、中央アメリカに次ぐヒスイ産地で、世界の三大ヒスイ産地の一つに数えられます。古代には2つのヒスイ文化圏があり、一つは、メキシコ・グァテマラを中心とするオルメカ・マヤ・アステカの各文化と糸魚川・青海のヒスイで花開いた縄文のヒスイ文化です。
縄文のヒスイ文化の発祥は、約4500年前にさかのぼり、中央アメリカで栄えたヒスイ文化よりも古く、世界最古のヒスイ文化です。

アクセス

<電 車>
京急北品川駅より徒歩5分
<バ ス>
◎本数は各1時間に3～4本
●品川駅から五反田行き(反96乙)御殿山バス停下車
<タクシー>
●品川駅高輪口よりタクシーワンメーター

開館時間：10時～17時(月曜日、翌祭日は休館)
入 館 料：お一人様700円
◎スリランカの紅茶をサービスしております。

住所：〒140-0001　東京都品川区北品川4-5-12
TEL：03-6408-0313
FAX：03-6408-0314
URL：http://www.hi-su-i.com

優待券

本券をご持参の方に限り、
入場料を200円引きとさせて頂きます。

本券は他の割引券との併用はできません。

翡翠原石館

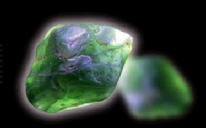
HISUIGENSEKIKAN

『奴奈川姫』10万個のモザイク壁画

当館について

翡翠原石館とは糸魚川、青海の翡翠を未来に残すため糸魚川小滝物産の伊藤尚治氏をはじめ、ほか大勢の御尽力により鵜見信行館長が30年間収集してきた翡翠原石を公開するため、2002年5月、品川区北品川に開館した日本で唯一の翡翠専門の展示館です。
また、収蔵品の中から数十点を常設展示を行うとともに勾玉をはじめとする、翡翠製品の販売を催しております。
現在5トンからの原石や海岸での漂流をはじめ、現地でも見られないほどの数々の美しい石が展示されており、また展示に最もふさわしい光と空間作りを実現し、片栗、雪割り草、つるにんじん、などの野草や、桜などの樹木、室内を流れる小川の水草により、四季折々の自然を楽しめる展示館となっております。
現在かじかガエルの庭での繁殖を目指すなど、緑の中の美術館にしようと努めております。

翡翠の話



1.翡翠の誕生

一般に地下20～30kmの深さになると、温度は摂氏600度以上になりますが、海洋プレートという低温の石盤が、海溝のところで大陸プレートの下にもぐりこんでいる場所（沈み込み帯）では、同じ深さでもはるかに温度が低くなっています。
地球の中で低温高圧型変成作用がおきる条件が整っているのは沈み込み帯の地下だけです。沈み込み帯では、プレートの下部にあるマントルのかんらん岩に水が加わって蛇紋岩化され、これの比重が軽いため、地下に向けてあがってくる時にヒスイや高圧低温の変成岩を持ち上げてきます。これが、蛇紋岩メランジとなり、この中にヒスイが含まれているのです。

2.翡翠の種類

＜硬玉（白）ジェイダイド＞
比重：3.2～3.4／モース硬度：6～7度／屈折率：1.64～1.69／結晶：単斜晶系／へき開：93°に交差／分類：輝石炭鉱物／化学式：NaAlSi2O6／珪酸：58.28Wt.%／酸化アルミニウム：23.11／酸化ナトリウム：13.94／酸化カルシウム：1.62／酸化マグネシウム：0.91／第一酸化鉄：なし／第二酸化鉄：0.91／酸化塩：なし／その他：1.50

＜軟玉　ネフライト＞
比重：2.9～3.1／モース硬度：5～6度／屈折率：1.6～1.67／結晶：単斜晶系／へき開：124°に交差／分類：角閃石族鉱物／化学式：Ca2（Mg,Fe）5Si8O22（OH）2／珪酸：57.60Wt.%／酸化アルミニウム：0.25／酸化ナトリウム：なし／酸化カルシウム：12.68／酸化マグネシウム：25.61／第一酸化鉄：0.66／第二酸化鉄：なし／酸化塩：0.16／その他：3.04

3.翡翠の色はどうしてつくのか、又その成分は？

ヒスイはヒスイ輝石とオンファンス輝石という鉱物からなっていて、ヒスイ輝石・ナトリウム・アルミニウムを含むケイ酸塩鉱物（NaAlSi2O6）で、火成岩・堆積岩・変成岩に大別される岩石の中の変成岩に含まれる。
ヒスイ輝石を構成する元素たち（ナトリウム・アルミニウム・ケイ素酸素）は典型元素と呼ばれ、その化合物は無色であることから、この純粋な組成を持つヒスイ輝石は無色透明であるはずですが、肉眼的に白くみえます。
しかしヒスイには緑・ラベンダー・青・黄等の色があります。緑色の部分の化学組成を見てみると（Na,Ca）（A1,Mg,Fe）Si2O6であることから、ヒスイ輝石のナトリウムの